

令和 6 年度 62 回生 授業概要(シラバス)

科目名	解剖学Ⅰ	分野/教育内容	専門基礎分野/人体の構造と機能
開講年次・時期	1 年前期 令和 6 年 4 月 10 日	単位数/時間	1 単位/30 時間
担当講師名	金澤 潤	所属・役職	岩手医科大学 医学部 解剖学講座 人体発生学分野 助教
		資格・免許	医師・医学博士・死体解剖資格（系統）
授業の概要	人体解剖学、特に系統解剖学の知識を理解する上で、正常な人体の構造と各臓器、器官との相互関係を理解し、後期学習科目及び臨床看護、治療の基礎知識を身につける		
到達目標	局所解剖学的知識を臨床看護に応用できる		
事前学習内容	授業内容に関する教科書の部分を読んでから受講する		
成績評価の方法	1. 試験による評価 2. 出席状況と受講態度による評価		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1・2 回	解剖学のための基礎知識；人体の区分、身体の軸と運動の方向、身体の基本構造、体表の目印		講義
第 3・4 回	身体の支持と運動；人体の骨格と筋(体幹、上肢帯と自由上肢)		
第 5・6 回	身体の支持と運動；人体の骨格と筋(下肢帯と自由下肢、頭蓋)		
第 7・8 回	血液の循環；血液と脈管、心臓		
第 9・10 回	呼吸運動；呼吸器の構成、呼吸運動、ガス交換、肺循環		
第 11・12 回	消化と吸収の解剖学；消化管と肝・胆・膵		
第 13 回	終講試験		
第 14・15 回	解剖学Ⅰの残り、終講試験の解説		
履修上の留意点	1. 人体解剖学は、人の体の形態を観察し、その形態の存在意義を理解し考察する学問であるため、単なる教科書の内容の「暗記」はしない 2. 図書室やインターネットなどを利用して、文献と資料の収集に力を入れる 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和6年度 62回生 授業概要(シラバス)

科目名	解剖学Ⅱ	分野/教育内容	専門基礎分野/人体の構造と機能	
開講年次・時期	1 年前期 令和 6 年 5 月 29 日	単位数/時間	1 単位/30 時間	
担当講師名	金澤 潤	所属・役職	岩手医科大学 医学部 解剖学講座 人体発生学分野・助教	
		資格・免許	医師・医学博士・死体解剖資格（系統）	
授業の概要	人体解剖学、特に系統解剖学の知識を理解する上で、正常な人体の構造と各臓器、器官との相互関係を理解し、後期学習科目及び臨床看護、治療の基礎知識を身につける			
到達目標	局所解剖学的知識を臨床看護に応用できる			
事前学習内容	授業内容に関する教科書の部分を読んでから受講する			
成績評価の方法	1. 試験による評価 2. 出席状況と受講態度による評価 3. 解剖見学レポートの内容による評価			
使用教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学, 医学書院			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師	授業形態
第 1・2 回	情報の受容と処理Ⅰ；神経系		金澤	講義
第 3・4 回	体液調節の解剖学；尿と汗の産生			
第 5・6 回	生殖と発生；女性生殖器、男性生殖器、受精と初期発生			
第 7・8 回	生体防御；免疫系			
第 9・10 回	恒常性の維持；自律神経系と内分泌			
第 11・12 回	情報の受容と処理Ⅱ；感覚器(視覚器と平衡聴覚器)			
第 13～15 回	解剖見学		金澤 高橋	演習
履修上の留意点	1. 人体解剖学は、人の体の形態を観察し、その形態の存在意義を理解し考察する学問であるため、単なる教科書の内容の「暗記」はしない 2. 図書室やインターネットなどを利用して、文献と資料の収集に力を入れる 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する			